

令和6年度 社会福祉法人 富門華会 事業報告書

I. 法人の現況

1. 令和6年度の活動状況総括

(1) 事業経過及びその成果

障がい者福祉事業においては、富門華の施設入所利用率が97.7%であった。定員満度ではなかったものの、報酬改定により、新規加算を取得したことなどから前年度と比較して大幅な増収となった。年度途中の退所者が4名あり、新規入所者は2名であった。利用者がより一層安心のできる穏やかで安定した生活を日々過ごすことができるよう最大限に支援に取り組んだ。また、グループホームでは、富岡ホームとして一体化した事業所として4月1日から事業を開始し、7月1日にはなのはなと名称変更をし、年間を通して10名（定員10名）の利用があった。こちらも快適な生活を送り、充実した日々をグループホームで過ごすことができるよう支援を行った。

高齢者福祉事業においては、ケアハウスとデイサービスの赤字運営が顕著になっており、それぞれ入居率、利用率の低下が主な原因ではあるが、それ以外でも様々な要因が考えられた。

ケアハウスでは10月だけで3名の退居者がおり、年間を通して例年の倍以上である9名の退居者が発生し、新規入居のペースが間に合わなかったことと、要介護度の重たい方が退居され、新規の方は要介護度が低いために平均介護度が令和5年度末に比べ1.11から0.75へと低下したことも収入の減少に結びついている。デイサービスでは、一般型の利用率や平均介護度が低いながらも安定した状態であるものの、認知症対応型については利用率、平均介護度ともに大きく減少しており、運営に大きな支障をきたしている。このことから次年度においては、利用者、安平町、居宅介護事業所の理解を得ながらも一時的な休止を検討せざるを得ない状況となっている。グループホームさかえと居宅介護事業所では、職員の高齢化が進んでおり、計画的な後継者の育成が急務となっている。

2. 重点項目の取り組み

(1) 事業運営の安定化

実施項目	実施状況等
1. 障がい者支援施設富門華及び障がい者グループホームなのはなの事業の安定化	<ul style="list-style-type: none">・利用者の個別支援計画の把握と支援実施、評価等のケアマネジメントの実施、サービス担当者会議の実施・4月1日富岡ホームに一本化した共同生活援助事業所として事業開始（定員10名）、7月1日なのはなに名称変更・管理者、サービス管理責任者、生活支援員、世話人間の打合せ・会議等の実施と連携の強化、確実な情報の伝達および共有化・地域社会との良好な関係構築・利用者家族等への情報提供
2. 高齢者施設の事業運営の安定化	<ul style="list-style-type: none">・各ユニット内とユニット間相互の打合せや会議等の実施と職員間の連携強化、情報の伝達と共有化・最低限必要な職員確保と養成

	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族等への報告・情報提供 ・医療機関との強固な連携 ・報酬改定への理解
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 利用者の権利擁護及び虐待防止対策の強化

実施項目	実施状況等
1. 各事業所における取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の打合せ、会議等での課題提起と事案発生防止対策の確認 ・職員の各種研修等への積極的参加と情報の共有化、参加しやすい環境の整備 ・虐待防止に関する事項の職員への情報提供 ・他法人・事業所における取組等の情報収集 ・虐待防止内部研修の実施

(3) リスク管理の強化

実施項目	実施状況等
1. 新型コロナウイルス感染症等防止対策の継続と強化	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症防止対策に係る備品等の確保と点検 ・情報収集と各事業所内などでの対策検討会議等の実施と情報の共有化 ・新型コロナ等における利用者の日常生活に関する事項の検討 ・法人、事業所間の相互支援・協力体制の調整と強化 ・その他の感染症等の情報収集と対策強化
2. 防災・減災備品等の整備と職員教育	<ul style="list-style-type: none"> ・各種災害の洗い出し及び対策の立案（地震、火災、大雨、暴風雪停電、断水等） ・障がい者事業所並びに高齢者事業所のBCP（事業継続計画）の策定周知 ・各事業所における現有防災備品の確認 ・防災・減災関連用品の補充 ・定期的な避難訓練等の実施（火災、災害）
3. その他リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の病気予防と怪我などの事故防止対策 ・ヒヤリハット事例報告と検討による事故等発生防止対策強化 ・食中毒、熱中症等対策の実施 ・利用者への誤薬の防止強化対策の実施 ・施設運営に係るその他のリスク管理の考察と対策

(4) 法人組織内の連携強化

実施項目	実施状況等
1. 法人運営会議の定期開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人運営会議並びに打合せ等の積極的な実施 ・ 各事業所間の相互協力、連携強化と業務分担 ・ 外国人労働者に関する情報収集と採用への検討 ・ 他法人、施設等に関する情報収集 ・ 働きがいのある働きやすい労働・職場環境の構築努力
2. 関係機関・組織。団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安平町（健康福祉課等）その他行政機関との相互協力 ・ 安平町社会福祉協議会との相互協力 ・ 医療機関、他法人・福祉事業所等との相互協力 ・ 自治会活動への積極的な参加協力 ・ その他福祉協会等との連携、協力
3. 理事会・評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会の開催（施設運営他） ・ 役員への情報提供 ・ 定時評議員会の開催及び評議員への情報の提供
5. 安平町在宅介護支援センター業務委託	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安平町高齢者等訪問調査の実施 ・ 要支援者、家族からのヘルプコールや緊急時の現場対応の実施 ・ 実施報告書の作成による安平町への報告 ・ 安平町徘徊高齢者SOSネットワークへの参加協力 ・ 安平町地域包括支援センターへの業務連絡の実施による連携

(5) 人材確保と職員の育成、職員の資質向上

実施項目	実施状況等
1. 人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人及び各事業所のPRと求人活動の継続 ・ 各メディアの活用 ・ 安平町地域おこし協力隊員の活用 ・ ハローワーク等各関係機関との連携と情報収集 ・ 外国人労働者に関する情報収集と採用の検討 ・ 他法人・事業所等に関する情報収集 ・ 労働条件の改善と均等待遇
2. 職員の育成・資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業所における日々の打合せ、随時の会議・研修会開催 ・ 理事長、管理者等幹部職員による職員面談等の実施 ・ 外部研修会に関する情報収集と積極的参加

	<ul style="list-style-type: none"> ・他法人・事業所の取組等の情報収集 ・メンタルヘルス対策の実施
--	--------------------------------------------------------------------------------------------

(6) 予算・財務管理の強化

実施項目	実施状況等
1. 現行事業における報酬の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・利用希望待機者の受入れによる利用率の確保 ・障がい度、介護度の高い利用者の積極的な受入れ ・関係機関との連携強化と情報収集及び情報提供 ・各事業所における効率的・効果的な支出の実施と経費の節約 ・各種法令・基準等に基づく適正な法人・事業所運営の実施 ・法人・事業所のPR（ホームページその他）
2. 事業経営収支状況分析と対策	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画と適正な予算作成及び執行 ・入所利用率の維持努力の実施 ・収入増を目指すための各種報酬加算や処遇改善加算の取得
3. 各事業所における収支点検及び適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における日々の支出点検、問題・課題の検討 ・各事業所の月次試算表による財政状況の定期点検の実施

(7) 地域への公益活動

実施項目	実施状況等
1. 地域公益活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公益活動実施要綱に基づく活動の実施 ・支援対象者の確認 ・関係者への情報提供と活動の周知 ・その他活動（認知症カフェ開催、自治会活動への参加協力、認定こども園・小中学校・高校への協力、安平町への協力、他社会福祉法人等の役員、評議員就任等の協力）

3. 事業収支及び財産の状況（一般会計）

①収支の推移

単位：千円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令5・令6年度比較増減
サービス活動収益	798,981	746,133	813,271	67,138
サービス活動費用	720,298	759,748	762,126	2,378
サービス活動外収益	7,662	10,182	10,871	689
サービス活動他費用	1,990	3,063	3,812	749
経常増減差額	84,355	△ 6,496	58,205	64,701

特別収益	547,494	0	13,851	13,851
特別費用	548,153	73,914	0	△ 73,914
特別増減差額	△ 659	△ 73,914	13,851	87,765
当期活動増減差額	83,696	△ 80,410	72,056	152,466

②資産・負債の推移

単位：千円

	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令5・令6年度比較増減
流動資産	464,588	400,748	380,913	△ 19,835
固定資産	2,249,866	2,132,968	2,163,321	30,353
資産合計	2,714,454	2,533,716	2,544,234	10,518
流動負債	134,835	97,716	90,281	△ 7,435
固定負債	638,639	606,989	582,317	△ 24,672
負債合計	773,474	704,705	672,598	△ 32,107
純財産	1,940,980	1,829,011	1,871,636	42,625

4. 今後対処すべき課題

- ①障がい者・高齢者事業所の経営・財政基盤の強化と安定化
- ②福祉医療機構からの借入金の確実な返済（富門華、なのはなグループホーム）
- ③新型コロナウイルス感染症対策、地震・火災・洪水等の防災・減災対策等リスク管理対策の強化
- ④利用者の権利擁護と虐待防止対策並びに利用者の生活の質の向上
- ⑤職員の倫理意識・資質の向上、優秀な人材確保
- ⑥法令・基準に基づく適正な法人及び事業所運営並びに法人本部機能の強化
- ⑦地域公益活動の実施と充実化
- ⑧障がい者事業所の利用者の高齢化・重度化への対策
- ⑨高齢者事業所利用者の加齢及び介護度の高まりに対する対策
- ⑩法人・施設50周年記念事業の実施検討

II. 法人の概要及び実施する事業

1. 主たる事務所の所在地

〒059-1434 北海道勇払郡安平町早来富岡129番地1

2. 事業の種別

(1) 第1種社会福祉事業

- (ア) 障害者支援施設の経営
- (イ) 軽費老人ホームの経営

(2) 第2種社会福祉事業

- (ア) 障害福祉サービス事業の経営
- (イ) 老人デイサービス事業サックルの受託経営
- (ウ) 認知症対応型老人共同生活援助事業（安平町認知症高齢者グループホームさかえ）の受託経営

3. 事業の種類及び名称等

名 称	施 設 長	所 在 地	定員(人)
富門華 (障害者支援施設)	戸 田 好 枝	安平町早来富岡 129	生活介護 112 入所支援 90 短期入所 2
なのはな (共同生活援助事業)	戸 田 好 枝 管理者 畠山大輔	安平町早来栄 164 外	10
ケアハウスサックル	中 田 良 彦	安平町早来栄町 157	30
安平町デイサービスセンターサックル (安平町指定管理者施設)	〃	〃	一般型 20 認知症対応型 10
安平町認知症高齢者グループホームさかえ (安平町指定管理者施設)	〃 管理者 佐々木睦美	安平町早来栄町 133	9

4. 施設サービス利用者の推移

単位：人

名 称	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令5・令6年度比較増減
富 門 華	生 104 入 97	生 112 入 89	生 101 入 88	生△11 入△1
あけぼのグループホーム	4	4	—	
なのはな(富岡ホームな)	4	9	10	1
ケアハウスサックル	29	29	27	△2
デイサービス サックル	1日平均 14.7	1日平均 10.6	1日平均 12.6	1日平均 2.0
グループホームさかえ	9	9	9	0

5. 施設職員数の推移

単位：人

名 称		令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令5・令6年度比較増減
富 門 華	正	36	29	29	0
	臨	42	40	42	2
	計	78	69	71	2
なのはな (富岡ホーム)	正	—	2	1	△ 1
	臨	—	6	9	3
	計	—	8	10	2
ケ ア ハ ウ ス サ ッ ク ル	正	4	4	4	0
	臨	13	14	15	1
	計	17	18	19	1
デイサービス サ ッ ク ル	正	3	3	3	0
	臨	16	16	10	△ 6
	計	19	19	13	△ 6

グループホーム さかえ	正	1	1	1	0
	臨	8	9	9	0
	計	9	10	10	0

※デイサービスは、一般型・認知症対応型及びサックル介護保険相談所を含む

各年度末日現在

正：正職員 臨：非常勤・パートを含む

6. 借入金残高（令和7年3月31日現在）

（独）福祉医療機構 472,080,000円（富門華新築工事資金）

（当初借入 515,000,000円）

（独）福祉医療機構 50,700,000円（なのはなグループホーム新築工事資金）

（当初借入 56,900,000円）

7. 補助金関係

- ・軽費老人ホーム運営費北海道補助金（ケアハウスサックル） 14,633,045円
- ・北海道福祉・介護処遇改善臨時特例交付金（富門華） 1,947,777円
- （なのはな） 92,475円
- ・安平町敬老会支援交付金（ケアハウスサックル） 72,000円
- （GHさかえ） 36,000円

8. 監査等

（1）法人監事による監査実施日、内容等

- ・令和6.6.3 令和5年度事業報告書・計算書類・付属明細書・財産目録関係、会計事務所による巡回監査結果、利用者預かり金・小遣い帳処理関係、理事長の職務執行状況
- ・令和6.8.28 理事長の業務執行状況、法人現況報告書、資産総額変更登記、利用者預かり金・小遣い帳処理、職員退職共済加入状況、猛暑・感染症対策状況、会計事務所による巡回監査結果
- ・令和6.11.18 理事長の職務執行状況、会計事務所による巡回監査結果、労働災害発生状況確認と対策関係、苦情処理関係、寄贈物品確認、利用者預かり金・小遣い帳処理、利用状況確認
- ・令和7.2.13 理事長の業務執行状況、利用者預かり金・小遣い処理、会計事務所経理巡回監査結果、地震・火災想定避難訓練実施状況、事業所預金残高照合、感染症対策状況

（2）税理士法人さくら総合会計による巡回監査実施日、内容

- ・令和6.5.27 令和6年1～3月会計処理、令和5年度決算、財務書類
- ・令和6.8.19 令和6年4～6月各拠点区分会計処理、ホームページでの財務諸表公表について
- ・令和6.11.12 令和6年7～9月各拠点区分会計処理、伝票修正、寄贈処理
- ・令和7.2.6 令和6年10～12月各拠点区分会計処理、伝票修正

（3）胆振総合振興局保健環境部社会福祉課事業指導、その他

- ・令和6.4.4 介護保険施設等現況報告書（ケアハウスサックル、デイサービスサックル）
- ・令和6.4.8 障害福祉サービス事業者等現況報告書（富門華、あけぼのグループホーム、

富岡ホーム)

- ・令和 6. 6. 27 社会福祉法人現況報告書及び財務諸表等電子開示
- ・令和 7. 1. 8 胆振総合振興局による指定障害者福祉サービス事業者等指導監査(集団指導)
- ・令和 7. 1. 11 介護保険施設等集団指導(ケアハウスサックル、デイサービスサックル)
- ・令和 7. 1. 27 介護サービス情報公開更新(ケア、デイサックル 介護保険相談所、グループホームさかえ)
- ・令和 7. 3. 25 安平町による実地指導(グループホームさかえ)

9. 登記事項

- ・社会福祉法人変更登記(令和6年6月28日) 令和6年3月31日 資産総額の変更

10. 理事会開催状況(理事定数6名以上8名以内 現員8名 監事定数2名 現員2名)

	月/日	出席数	監事	審議事項
第1回	6/12	8/8	2/2	令和5年度事業報告・会計決算案・監査報告・定時評議員会開催案・富岡自治会及び富門華家族の会からの寄贈について
第2回	3/26	7/8	2/2	寄附金の受入について・令和6年度補正予算案・施設長の選任(富門華及び高齢者施設)・令和7年度事業計画案・令和7年度予算案

11. 評議員会開催状況(定数7名以上9名以内 現員9名)

	月日	出席数	審議事項
第1回	6/27	8/9	令和5年度会計決算案並びに監査報告

12. 役員の状況(令和7年3月31日現在)

任期: 令和5.6.26~令和7年度定時評議員会終結時

役職	氏名	住所	備考
理事長	多田政拓	安平町早来	
理事	戸田好枝	苫小牧市	富門華施設長
〃	廣川繁樹	安平町早来	富門華副施設長
〃	中田良彦	安平町早来	高齢者施設長
〃	平田秀雄	新ひだか町	
〃	黒坂昭	安平町早来	
〃	豊島滋	安平町追分	
〃	反保公志	札幌市	
監事	鼈和英	安平町早来	
〃	中西猛雄	札幌市	

13. 評議員の状況（令和7年3月31日現在）

任期：令和3.6.24～令和7年度定時評議員会終結時

氏名	住所	備考
畑山由起子	安平町早来	
櫻井唯紹	安平町早来	
實吉智子	安平町早来	
富澤治英	安平町遠浅	
佐藤民江	厚真町	
藤原和夫	安平町早来	
高橋光暢	安平町早来	令和4.3.28～
横澤健二	安平町早来	任期：令和9年度定時評議員会終結時迄
小山優子	安平町早来	//